

2025年度 出題内容の分析と出題の意図

日本史

一般選抜 前期日程

●出題内容

試験時間	70分
出題形式	大問ごとに異なる文章が提示され、空欄補充や適文選択が出題される。 各設問の選択肢は4～5つ程度。
解答形式	マーク70%、記述（用語の書き取り）30% ※2026年度入試よりマークセンス方式のみに変更
難易度	教科書に記載されている基本事項を中心とした出題であるが、やや深い知識を求める出題もある。難易度はやや難。
問題の内容（構成）	〔Ⅰ〕 古代・中世の日本と東アジア諸国との交流 〔Ⅱ〕 江戸時代の交通 徳川吉宗の政治 〔Ⅲ〕 近現代の対外事情と政治思想 〔Ⅳ〕 日本の山と人々との関係

●出題の意図

出題される時代は古代から近現代まですべての範囲である。いずれの時代もきちんと学習しているかを確認する。分野は政治、経済、社会状況だけでなく、宗教や文化についても問う。それぞれの時代における特徴や、政治や経済が他の事柄とどのように関連していたのかについて、きちんと理解できているかを確認する。また、単に用語や人名、年号などを覚えているかだけでなく、歴史にかかわる事柄を適切に理解できているかも問う。時代、地域、分野を横断した幅広い知識と教養をこの試験では確認している。

●受験生へのアドバイス

大問は4つある。おおまかに①古代・中世、②近世、③近現代、④テーマ史にわけて出題する。重要な歴史用語や内容を問う問題が多いので、まずは教科書の太字の用語を正確に覚えるとよいだろう。

文章選択問題の中には、単に用語を問うだけでなく、やや細かな知識や正確な内容を知らなければ正答を絞り込めない問題もある。用語を暗記するだけでなく、その用語に関連する人物や出来事を自分なりに説明できるように理解しておくことが望ましい。

さらに史料問題や地図を用いた問題も出る。重要史料については目を通しておき、その史料の内容や時代背景を確認しておこう。場所は単に地名を覚えるだけでなく、地図上での位置をあわせて確認しておくとういである。